

## 本会の概況

- 事業開始／昭和26年4月1日
- 会員数／18  
(うち連合会・専門農協4)
- 出資金／40億1,669万円
- 役員／理事12名  
監事4名
- 職員数／249名
- JA熊本経済連グループ子会社等7社
  - ・株エーコープ熊本
  - ・熊本くみあい運輸(株)
  - ・ユーユーフーズ(株)
  - ・熊本パールライス(株)
  - ・熊本クミアイプロパン(株)
  - ・株熊本畜産流通センター
  - ・株熊本蛋白ミール公社

## 令和4年度基本戦略

### ～持続可能な農業を目指して～ 未来に繋げる自己改革

#### 1. 生産基盤の拡大と県農畜産物の販売力発揮

品目別ブランド戦略にもとづく県農畜産物販売力の発揮に取り組みます。  
青果物コントロールセンターの機能充実とスケールメリットを活かした販売強化に取り組みます。  
実需者ニーズに応じた品目提案と契約的取引の拡大に取り組みます。  
県域農業指導体制の構築と営農指導力の強化・GAP認証取得支援に取り組みます。  
畜産の新たな市場開拓と安定出荷に取り組みます。  
ネット販売など多様な販売チャネルへの対応強化に取り組みます。

#### 2. 生産・流通コストの低減と事業競争力の強化

環境に配慮した商品の開発やP-Bランダ、低コスト資材の調査・研究に取り組みます。  
銘柄集約や全農・他県と連携した共同仕入れの実践等によるスケールメリットの最大化に取り組みます。  
ICTやドローンを活用した、省力化・効率化に向けたスマート農業の提案に取り組みます。  
肥料農薬の満車直行・飼料バラ直送率の向上など物流効率化による価格の低減に取り組みます。  
農産物倉庫の運営や青果物のトラック輸送問題への対応と県域共同輸送体制の構築に取り組みます。  
県域JAに向けた拠点型事業マスタープランの検証・実践に取り組みます。  
地域のライフライン店舗（生活・SS）の充実と食材事業の強化に取り組みます。

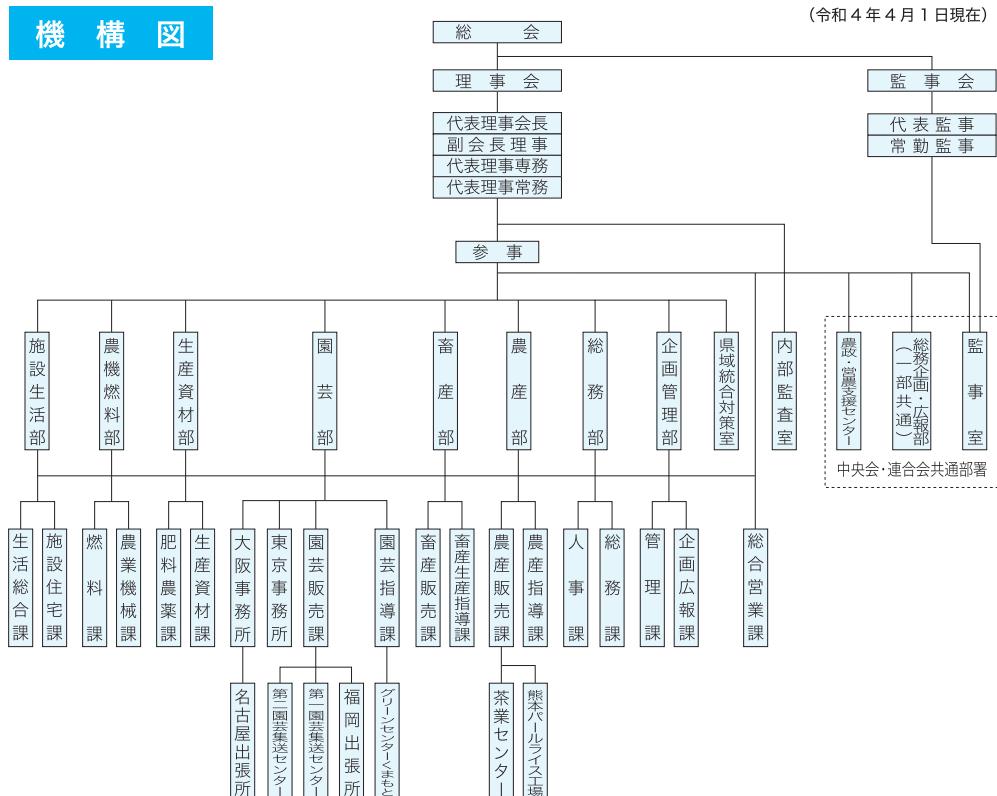
#### 3. 経済連グループ経営基盤の強化

部門横断プロジェクトの設置による課題解決に取り組みます。  
自己改革実践サイクルの確立に取り組みます。  
持続的な経営に向けた内部留保の充実に取り組みます。  
子会社の経営基盤強化に取り組みます。  
リスク管理の徹底とコンプライアンス態勢の強化に取り組みます。  
マスメディア、インターネット・SNSを活用した情報発信の強化に取り組みます。  
優秀な人材の確保と育成、社会情勢を見据えた業務効率化（デジタル化）に取り組みます。

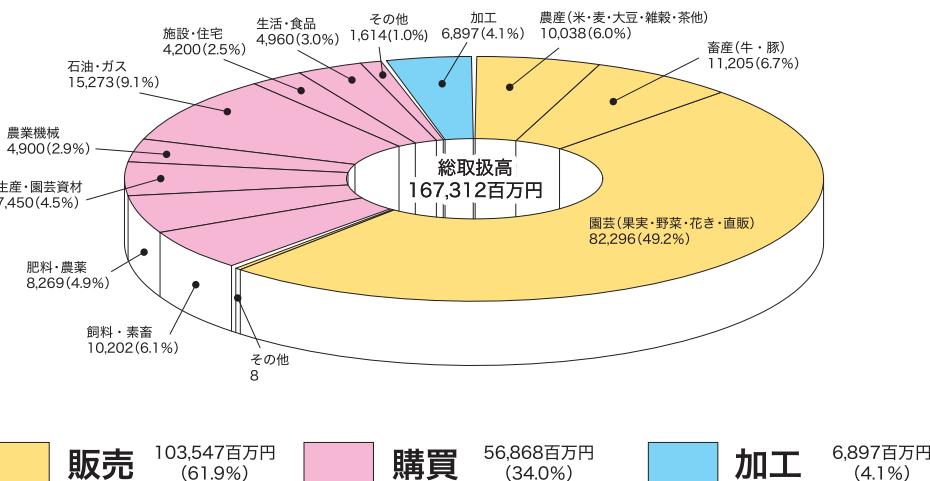
#### 4. 県域JAへの取り組み

J A・関係団体と連携した検討・協議に取り組みます。

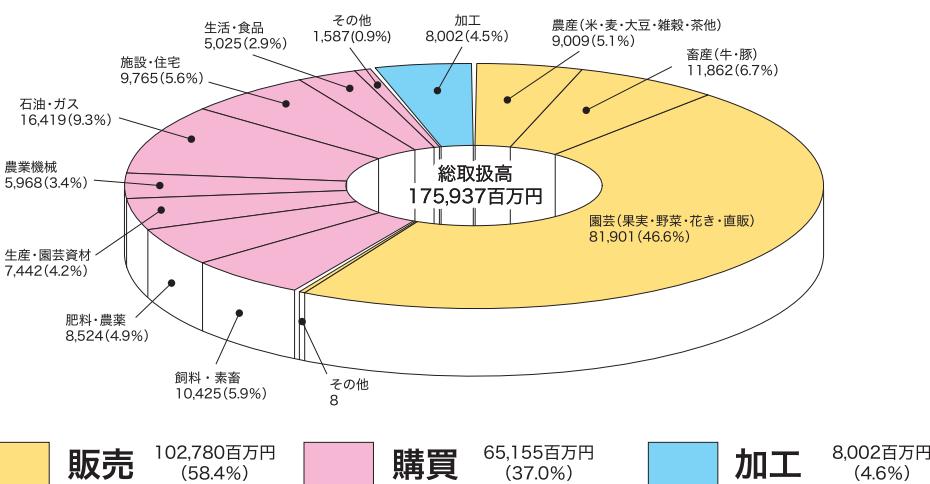
## 機構図



## 令和4年度計画品目別内訳（単位：百万円）



## 令和3年度実績品目別内訳（単位：百万円）



### J A グループ 熊本 くまもと農畜産物統一ブランドマーク



コンセプトは大自然の土のかおりです。  
「KUMAMOTO」のロゴをデザイン化。

農夫・婦（緑）が丹精込めた、バリエーションに富んだ「くまもと農畜産物」を抽象的デザインで表現しました。色は高級感と誠実さをイメージさせる緑と黒の2色としました。

熊本県経済農業協同組合連合会

〒860-8528  
熊本県中央区南千反畠町3番1号  
TEL: 096(328)1108  
FAX: 096(326)0525  
<https://www.jakk.or.jp/>